

令和2年度

河北町教育委員会事務事業点検及び評価報告書
(令和元年度分)

河北町教育委員会
(令和2年9月)

目 次

I	教育委員会事務事業の点検及び評価について	1
1	制度の概要及び目的	1
2	点検及び評価の対象事業	1
3	点検及び評価の方法	1
4	学識経験者の知見の活用	1
II	教育委員会の活動状況	2
1	総合教育会議の開催	2
2	教育委員会会議の開催	2
3	教育委員会会議以外の活動	3
4	教育委員の報酬	3
III	施策の体系	4
IV	教育事務評価委員の意見	5
V	点検及び評価対象事業一覧	6
	【点検及び評価の結果（事務事業点検及び評価調書）】	8

I 教育委員会事務事業の点検及び評価について

1 制度の概要及び目的

教育委員会の点検及び評価は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条の規定により毎年、その権限に属する事務の管理及び執行状況について自ら点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表しなければならないことになっています。

また、この点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとされています。

この法律を受け、河北町教育委員会では、効果的な教育行政の推進に資するとともに町民に対する説明責任を果たすため、前年度に行った事務事業について、3名の教育事務評価委員の方々の意見をいただきながら点検及び評価を実施し、その結果を報告書としてまとめました。

【参考】

地方教育行政の組織及び運営に関する法律

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 点検及び評価の対象事業

点検及び評価は、令和元年度に実施した教育委員会所管の事業のうち、教育振興計画との関連に視点を置き、事業費の額及び町民への周知の必要性等を考慮して選定した主要な事業を対象に実施しています。

3 点検及び評価の方法

各事業について「必要性」、「効率性」及び「有効性」等の観点から総合評価したうえで、今後の方向性として、「拡充」、「継続」、「縮小」、「見直し」及び「休廃止」に区分して明らかにしました。そしてその内容は、事業ごとに「事務事業点検及び評価調書」としてまとめています。

4 学識経験者の知見の活用

教育委員会が行った点検及び評価についてその客観性を確保するため、令和2年7月10日に3名の学識経験者を教育事務評価委員として委嘱し、点検及び評価の内容について意見をいただきました。

河北町教育事務評価委員

氏 名	役 職 名 等
砂 田 哲	学識経験者
小 野 俊 雄	学識経験者
牧 野 之 子	学識経験者

II 教育委員会の活動状況

1 総合教育会議の開催

開 催 日	協 議 件 名
12月19日	小学校のあり方について 外1件
3月26日	令和2年度施政方針及び教育方針について

2 教育委員会会議の開催

(1) 会議

- ・ 委員会 13回
- ・ 議案 23件
- ・ 協議等 17件

開 催 日	区 分	議 案 協 議 件 名
4月26日	協議等	西村山開発重要事業要望（教育庁関係）について 外5件
5月23日	議案	令和元年度準要保護児童生徒の追加認定について
	協議等	河北町子どもの読書活動推進計画について 外2件
6月27日	議案	令和元年度河北町教育委員会の教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を実施する学識経験者の委嘱について 外1件
7月25日	議案	各種委員の委嘱についての専決処分について 外3件
8月22日	協議等	令和元年度河北町教育委員会事務事業点検及び評価報告について 外1件
9月26日	協議等	小学校のあり方について
10月24日	協議等	学校施設空調設備設置工事の整備状況について 外1件
11月28日	議案	学校給食費の改定（案）について 外3件
12月19日	議案	令和元年度準要保護児童生徒の追加認定について

開催日	区分	議案協議件名
1月23日	議案	河北町教育委員会事務局組織に関する規則の一部を改正する規則の制定について 外4件
	協議等	河北町子どもの読書活動推進計画について 外1件
2月20日	議案	令和元年度準要保護児童生徒の認定取消について 外3件
	協議等	第2次河北町子どもの読書活動推進計画について
3月6日	議案	令和2年度河北町立小中学校教職員人事異動内申について
3月26日	議案	令和2年度河北町教育委員会事務局職員の異動の承認について 外2件

3 教育委員会会議以外の活動

(1) 学校訪問

実施日	実施校	実施日	実施校
6月10日	溝延小学校	7月17日	谷地中部小学校
6月12日	西里小学校	10月15日	谷地西部小学校
6月18日	北谷地小学校	10月23日	谷地南部小学校
6月24日	河北中学校		

(2) その他会議・式典参加等

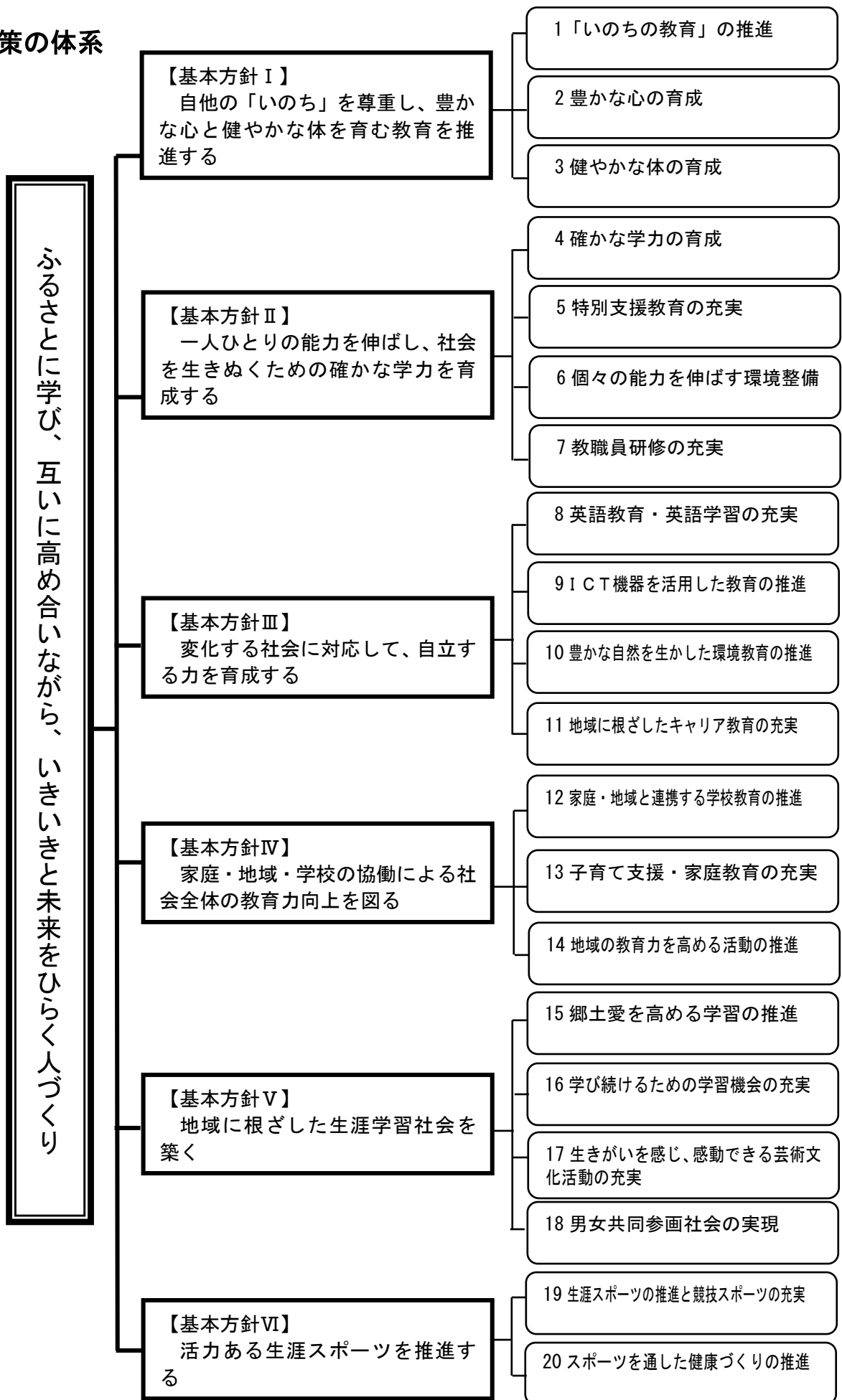
(7) 西村山市町教育委員会連絡協議会、山形県市町村教育委員大会

(4) 辞令交付式、小中学校入学式・卒業式、小学校陸上競技大会、小学校水泳大会、小中学校音楽会、成人式等

4 教育委員の報酬

(年) 243,000円

III 施策の体系



IV 教育事務評価委員の意見

河北町の学校教育は、住民の教育に対する熱い思いに支えられています。

また、現代の教育課題に対応しながら、特色ある学校づくりを展開することにより、子どもたちは、落ち着いて学習に取り組んでおり、成果が上がっていると感じます。特に、地域の人材を活用した学習をとおして、地域を愛する心を養い、将来の河北町を担う子どもの育成になっています。

最近の教育の大きな課題のひとつに、発達障害の子どもが増加があります。多動的な子どもについては、担任一人では対応できません。様々な症状があるので、その子どもに応じた指導をできる学習生活指導補助員を配置する必要があります。各学校が必要とする補助員の質と数を充実していかなければならないと考えます。

また、いじめ、不登校も大きな社会的問題になっています。スクールカウンセラーを継続配置して、教育相談体制の充実を図るとともに、教師と子どもの関係、子ども同士の関係を密にし、「生きる力の教育」や「いのちの教育」の充実を図る必要があります。

生涯学習については、町民大学「かほく町民大学ひなカレッジ」は、質の高い活動を運営されていると思います。実行委員の皆さんに敬意を表するとともに、長く継続されることを期待します。そのために、適切な行政の支援を続けてしていただきたいと思います。

また、各地区公民館の「文化教室」「大昭大学」「文芸学級」等も、充実した活動がなされていて、文化の町「河北」であることを強く感じます。特に、それぞれの講座が、実行委員会主催で住民主体となって進められていることは、誰もがいつでも学べるというまさに生涯学習そのものであると思います。

将来の河北町を担う若者を大事にしていきたいと考えます。具体的な団体としては、高校生のボランティア「ピエロ」中学生の「ピエロちび」そして、青年団です。団員数の確保、増員をする取り組みをしていただきたいし、ただの奉仕活動ではなく、住みやすい地域を考える活動をする団体として大事にしていただきたいと思います。ボランティアサークルピエロと青年団が主体的に運営している「はたちのつどい」は、ぜひ継続していただきたいし、活動の幅を広くする手立てを考えていただきたいと思います。

1 学校教育

- (1) 山形県立谷地高等学校は、町唯一の高等学校であり、地域に密着した学校づくりを進めるため、近隣地区の区長とPTA役員と生徒会役員との懇談会の開催や、谷地高祭の開催の折には、案内状と、生徒会が運営する売店の割引券を事前に近隣地区の全戸に配布されております。また、谷地高校のカヌー部の活躍は、国民体育大会の山形県の得点源になっており、町民に感動と勇気と元気を与えていただいております。そしてまた、ボランティアで、独居老人宅の除雪作業を行っていただくなど、地域に密着した学校づくりを進めております。このようなことから、引き続き、谷地高等学校への支援をしていく必要があると思われまます。
- (2) 少しでも不登校児童・生徒数を減らす、スクールカウンセラーや教育相談員、指導員等の配置の継続した取り組みが必要と思われまます。
- (3) いじめ問題や、児童・生徒の登下校時の安全確保等は、家庭、学校、地域、関係機関、

団体等が連携・協力して成り立っております。引き続き、児童・生徒の安全確保に努めていく必要があると思われます。

- (4) 現在も、そして将来も、児童・生徒は、パソコンに依存していかなければならない時代だと思っております。このようなことから、学習用パソコンの充実と校務用パソコンの活用を図ったのは、大変良かったと思います。引き続き、将来を想定した環境整備が必要であると思われます。
- (5) 世界の共通語は英語であるという認識のもと、将来を背負って立つ児童・生徒に、英語指導を更に充実させてほしいと思います。特に、外国語活動推進事業での、幼児対象の英語教育は、大いに評価するところであります。今後も、引き続き事業を継続していただきたい。
- (6) 特別支援教育について、将来の社会を生き抜くため、個々に応じた指導を、保護者と連携しながら進めていく必要があると思われます。
- (7) 地域の職場での就労体験や、県外での本町出身者の職場を訪問することは、生徒にとって貴重な体験になり、自分の親の仕事への理解と感謝も深まるのではないのでしょうか。今後も継続していただきたいと思われます。
- (8) 学校給食について、町産食材の使用率をどんどん増やしてほしいと思われます。また、食の安全のため、各種検査を今後も必ず実施してほしいと思われます。

2 生涯学習

- (1) 農村環境改善施設については、どこの施設も、利用人数等は、少子高齢化のため、減少傾向になるのは、当然と思われます。施設の維持管理のため、工事、修繕等を財政計画に計上し、利用者の安全確保に努めてほしいと思われます。利用者は、お客様であると考えた場合、お客様に迷惑のかからないようにすることが、基本であると思われます。引き続き、利用者の安全確保に努めていただきたいと思われます。
- (2) 学校支援地域本部事業については、いろいろな分野からの支援を実施していることは、素晴らしいことであります。今後とも、児童・生徒に対して、あらゆる方面から支援していくことが必要であると思われます。
また、各種事業については、企画立案者自身が、参加して楽しいと思えるような事業を展開すれば、参加者がおのずと集まってくるのではないのでしょうか。
- (3) 成人式・はたちのつどい事業の実行委員の方々は、諸準備等で大変たっただけでしょうが、一生に一度の晴れ舞台を演出していただき、本当にありがとうございます。今後も、充実した運営を期待いたします。
- (4) 放課後子ども教室推進事業については、それぞれの教室に参加を希望する子どもたちが、居場所づくりに取り組んだことは、大変良かったと思われます。集団教室でなく、少子化時代だからこそ、子どもの希望に即した事業は、素晴らしいと思われます。あらゆる方面から、少子化対策として、大人が、携わっていかなければならないと思われます。それが、今の大人の役割であると認識しております。
- (5) ひなカレッジは、実行委員主体の運営で、素晴らしい事業を展開していると思われます。実行委員の方々のご苦勞に感謝申し上げたいと思われます。
- (6) 地区公民館事業の学習講座は、物づくりだけではなく、それぞれの地区の講師との、ふれあいづくりも含まれていると思われます。今後も、充実した講座に期待いたします。なお、将来の講師の育成も大事と思われます。

- (7) 読書は、自ら文章を読んでいかなければならない。読書をすることにより、その内容等は、だれでもはっきり記憶に残っている。ということで、更なる読書の啓発活動に努めていただきたい。
- (8) 河北町の歴史講座は、誰もが興味を持つ事業であり、今後とも、いろいろな講座を企画立案していただきたいと思います。
- (9) 文化財の保護については、文化庁認定の、日本遺産「山寺が支えた紅花文化」にあるように、今後とも、それぞれの指定文化財を引き続き保護していく必要があると思われます。そして、それが、観光の面でも素晴らしい素材になると思います。
- (10) サハトベに花の利用人数等は、少子高齢化のため、減少傾向になるのは、当然と思われます。施設の維持管理のため、(株)ベに花の里振興公社と連携を密にし、工事、修繕等を財政計画に計上し、利用者の安全確保に努めてほしいと思います。
- (11) サハトベに花ホール事業の宝くじ助成事業は、県内外からの入場者で大盛況です。本当に素晴らしい事業であると思います。今後も引き続き継続していただきたい。
- (12) 県美展河北巡回は、幼児から高齢者まで幅広い世代で、夢とあこがれの世界へと導かれます。歴史ある県美展河北巡回を継続していただきたい。文化祭の開催については、発表会を楽しみにしている出展者、参加者等が沢山おりますので、ぜひ、充実した事業展開を期待いたします。
- (13) 女性・青少年センターについては、どんがホールが建設になってから、利用者は当然新しい場所へと移動します。施設の利用拡大、周知等は、スポーツ少年団、体育協会各種目連盟、各種クラブ等に周知してはどうでしょうか。
- (14) 交流館遊戯の屋内運動場、郷土資料館ともに、利用人数は、落ち着いた感があります。今後も、郷土資料館の展示内容とタッチパネルの充実、そして、屋内運動場の大盛況を今後も期待したいと思います。
- (15) 河北スポーツクラブは、町からの補助がないと自主運営はかなり難しい。なぜなら、他市と比べ、人口が少ないからです。今後も河北スポーツクラブ存続には、町からの補助が不可欠であると思われます。
- また、事業内容は、いろいろな教室があり、自分に合ったものを選択することができ、充実した事業展開ではなかったでしょうか。
- (16) 区対抗総合スポーツ交流大会は、町スポーツ推進員の運営補助で成り立っているといっても過言ではない。今後も、素晴らしい運営に期待したいと思います。スポーツ少年団活動は、青少年の健全育成を目的としており、今後も、勝利至上主義に走らないよう指導徹底する必要があると思います。
- (17) 区対抗総合スポーツ交流大会は、参加チーム数よりも、参加区数が増えることが望ましい。人集めは苦労しますが、それぞれの区長や役員の方々の取り組み方が大事であると思っております。なぜなら、自分達の地域を守るということは、世代間交流での融和を図ることが基本となると思うからです。
- ジュニア駅伝競走大会を通して、将来の西村山地区駅伝、県縦断駅伝競走大会に出場できる選手が出てきてくれることを多いに期待しております。
- (18) ベに花杯卓球大会は、コロナの関係で中止はやむを得ない。
- ベに花マラソン大会は、県内外からの参加者も多く、谷地ひな祭まつり、谷地どんがまつりと並ぶ一大イベントだと思っています。駐車スペースの制限もあり、参加選手800名前後が限界かと思われます。このマラソン大会は、ファミリーマラソンとも呼ば

れ、参加費よりも、参加賞が上回っているとの評判です。このマラソン大会を通して、県内外へ河北町の良さを発信できれば、リピーターも増えることでしょう。

(19) 河北町民テニスコートは、利用者から、非常に人気があり、利用度も高くなっています。2ヶ年で整備し、リニューアル出来たことは大変喜ばしい。それぞれの体育施設において、運動をする場所の提供は、住民サービスの一環であり、計画的に工事、修繕等を実施し、利用者の利用促進並びに安全確保に努めてほしい。

(20) 全国大会以上の出場選手への激励金の支給や、垂れ幕の掲示で、選手を鼓舞できたことは良かったです。これらの選手の中から、将来オリンピックに出場できる選手が出てきてくれることを、大いに期待をしております。

また、中学校運動部活動の振興事業は、河北町独自の事業で、全国の市町村のどこでも実施していない事業であり、保護者の経費節減にも寄与しているものと思われます。この事業をとおして、河北中学校の運動部活動の更なる飛躍を期待します。

また、町体育協会への補助金交付により、生涯スポーツの更なる発展に期待します。

V 点検及び評価対象事業一覧

番号	事業名	担当課	評価	備考
1	地域と共にある高校教育への支援	学校教育課	継続	
2	教育相談の充実	学校教育課	継続	
3	健康・安全教育の推進	学校教育課	継続	
4	教育環境の整備	学校教育課	継続	
5	英語教育の強化	学校教育課	継続	
6	教育の質の向上	学校教育課	継続	
7	特別支援教育の充実	学校教育課	継続	
8	キャリア教育の推進	学校教育課	継続	
9	健やかな体の育成	学校教育課	継続	
10	農村環境改善施設事業	生涯学習課	継続	
11	社会教育総務事業	生涯学習課	継続	
12	成人式・はたちのつどい事業	生涯学習課	継続	
13	放課後子ども教室推進事業	生涯学習課	継続	
14	公民館事業	生涯学習課	継続	
15	地区公民館事業	生涯学習課	継続	
16	図書館事業	生涯学習課	継続	
17	文化財総務事業	生涯学習課	継続	
18	文化財保護事業	生涯学習課	継続	
19	サハトベに花管理事業	生涯学習課	継続	
20	サハトベに花文化事業	生涯学習課	継続	
21	芸術文化振興事業	生涯学習課	継続	
22	女性・青少年センター事業	生涯学習課	継続	
23	交流館遊戯事業	生涯学習課	継続	
24	保健体育総務事業	生涯学習課	継続	
25	体育指導・教室事業	生涯学習課	継続	

番号	事業名	担当課	評価	備考
26	各種大会開催事業	生涯学習課	継続	
27	べに花関係大会開催事業	生涯学習課	継続	
28	体育施設事業	生涯学習課	継続	
29	スポーツ振興事業	生涯学習課	継続	

事務事業点検及び評価調書

1 事業名等

事業名	1 地域と共にある高校教育への支援	所管課・係	学校教育課 管理係
-----	-------------------	-------	--------------

施策体系 教育振興 計画	IV家庭・地域・学校の協働による社会全体の教育力向上を図る ○家庭・地域と連携する学校教育の推進	予算科目	款	10	教育費
			項	1	教育総務費
			目	1・2	教育委員会費、事務局費

2 事業の概要

事業目的	地域と共にある高校教育への支援
事業内容	(1) 奨学金制度の充実 (2) 教育環境の整備支援 (3) 地域と学校との連携強化

3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	816	補正額等	△116	合計	700	決算額	694
-------	-----	------	------	----	-----	-----	-----

4 事業の実施状況

<p>(1) 河北町育英会に対し、奨学金貸付の借入金利子等の補助金を交付した。</p> <p>(2) 地域に密着した学校づくりを進めるため、山形県立谷地高等学校後援会が行う教育活動等を支援する事業に対して補助金を交付した。</p>

5 事業の評価

<p>(1) 引き続き奨学金制度を運用し、保護者の学費負担軽減に努める。</p> <p>(2) 町唯一の高等学校であり、地域に密着した学校づくりを進めていくため、地域に貢献する教育活動や土日祝日の通学バス運行経費等を支援していく必要がある。</p>
--

6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>地域に密着した学校づくりを進めるため、山形県立谷地高等学校後援会が行う教育活動等を支援する事業に対して補助金を交付して支援していく。</p>

事務事業点検及び評価調書

1 事業名等

事業名	2 教育相談の充実	所管課・係	学校教育課 管理係
-----	-----------	-------	--------------

施策体系 〔教育振興計画〕	Ⅱ一人ひとりの能力を伸ばし、社会を生きぬくための確かな学力を育成する	予算科目 款 10 教育費 項 1 教育総務費 目 2 事務局費
	○個々の能力を伸ばす環境整備	

2 事業の概要

事業目的	教育相談の充実
事業内容	(1) スクールカウンセラーの配置 (2) 教育相談活動の充実 (3) 適応指導教室の指導

3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	2,556	補正額等	0	合計	2,556	決算額	2,342
-------	-------	------	---	----	-------	-----	-------

4 事業の実施状況

(1) 県費負担で学校に配置された2人のスクールカウンセラー（臨床心理士）を小学校においても町費負担で配置した。 (2) 教育相談員2人（町費）を配置して、不登校児童・生徒等への対応を行った (3) 適応指導教室（ゆうゆう教室）に1人の指導員を配置し、児童生徒への指導を行った。

5 事業の評価

(1) スクールカウンセラーが配置継続されており、児童・生徒へのカウンセリング、教職員・保護者への助言・援助等を行い、学校におけるカウンセリング機能の向上に努めた。 (2) 教育相談員は、学校を訪問しながら、別室、適応指導教室での生徒の支援や、家庭訪問の実施等も行った。 (3) 適応指導教室では、個に応じた対応等を行い、別室登校や普通学級復帰へ繋げた。

6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	ストレスが増えた現代社会における教育相談業務、スクールカウンセラー配置、適応指導教室の設置等は重要で、継続した取り組みが必要である。学校での児童生徒への対応を基本に、保護者との連携を一層密にする必要がある。

事務事業点検及び評価調書

1 事業名等

事業名	3 健康・安全教育の推進
-----	--------------

所管課・係	学校教育課
	管理係

施策体系 〔教育振興 計 画〕	I 自他の「いのち」を尊重し、豊かな心と健やかな体を育む教育を推進する
	○「いのちの教育」の推進 ○健やかな体の育成

予算科目	款	10	教育費
	項	1・2・3	教育総務費、小学校費、中学校費
	目	1・2	事務局費、学校管理費

2 事業の概要

事業目的	健康・安全教育の推進
事業内容	(1) 「いのちの教育」の推進 (2) 課題に対応した健康教育の推進 (3) いじめ問題対策など (4) 安全教育の推進

3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	5,244	補正額等	0	合計	5,244	決算額	5,217
-------	-------	------	---	----	-------	-----	-------

4 事業の実施状況

<p>(1) 自他のいのちを大切にし、自分の身を危険から守ることに重きを置いて「いのちの教育」に取り組んだ。</p> <p>(2) 各校学校保健委員会を定期的(年2回)に開催し、各校における課題を明らかにしながら、学校医等からの指導等を得て改善に取り組んだ。</p> <p>(3) いじめ問題対策連絡協議会を開催し、状況と対応や、学校・家庭・地域におけるいじめ防止の取り組みについて情報を共有した。</p> <p>(4) 地域の方々と共に、登下校時の安全確保の見守り活動とあわせ、地域学校安全指導員(1人)を配置し児童生徒の安全確保を図った。</p>

5 事業の評価

<p>(1) 自他のいのちを大切にする「いのちの教育」を推進することができた。</p> <p>(2) 早寝早起き朝ごはんや、歯磨きの励行など、保護者と一緒に健康教育を推進することができた。</p> <p>(3) 施設の安全面の整備はもとより、地域、保護者と共に安全・安心な学校づくりを進める。</p> <p>(4) 地域の方々の協力の下、登下校時の安全確保の見守り活動を行うと共に、地域学校安全指導員の配置や安全施設の整備を進める。</p>
--

6 今後の対応等

方 向 性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	健康・安全教育の推進は学校教育の基本であり、保護者や地域の方と共に進めていく。引き続き、安全・安心な学校づくりに努めていく。

事務事業点検及び評価調書

1 事業名等

事業名	4 教育環境の整備
-----	-----------

所管課・係	学校教育課
	管理係

施策体系 教育振興 計画	Ⅱ一人ひとりの能力を伸ばし、社会を生きぬくための確かな学力を育成する
	○個々の能力を伸ばす環境整備

予算科目	款	10	教育費
	項	1・2・3	教育総務費、小学校費、中学校費
	目	1・2	事務局費、学校管理費、教育振興費

2 事業の概要

事業目的	教育環境の整備
事業内容	(1) 子どもたちが学びやすい教育環境の構築

3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	564,006	補正額等	16,189	合計	580,195	決算額	578,340
-------	---------	------	--------	----	---------	-----	---------

4 事業の実施状況

(1) 学校施設空調設備設置工事（小中学校）、小学校体育館非構造部材耐震化工事（北谷地小）、小学校玄関ポーチ床タイル張替工事（南部小）、相撲場木造上屋柱脚部改修工事（溝延小）、音楽室等床カーペット張替工事（河北中）、教室棟1階東側男子トイレ洗浄装置更新工事（河北中）など
(2) 汎用ソフトを組み入れた学習用パソコンの運用等
(3) 学校図書の整備及び充実等

5 事業の評価

(1) 安全・安心な施設環境の維持に努めた。
(2) 学習用パソコンの内容充実と併せ校務用パソコンの活用を図った。
(3) 継続した図書の整備と充実を図った。

6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	環境整備の計画的実施、教育備品・学校図書館等の充実を継続的に取り組む。 今後の学習活動において、積極的にICTを活用することが想定されることから、国の方針を踏まえた環境整備が必要となる。

事務事業点検及び評価調書

1 事業名等

事業名	5 英語教育の強化	所管課・係	学校教育課 管理係
-----	-----------	-------	--------------

施策体系 教育振興 計画	Ⅲ変化する社会に対応して、自立する力を育成する ○英語教育・英語学習の充実	予算科目	款	10	教育費
			項	1・2	教育総務費、小学校費
			目	1・3・6	教育研究所費、英会話推進事業費、学校管理費

2 事業の概要

事業目的	英語教育の強化
事業内容	(1) 英語教育・英語学習における拠点形成 (2) 外部人材を活用した持続可能な英語教育・英語学習の推進

3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	3,385	補正額等	193	合計	3,578	決算額	3,303
-------	-------	------	-----	----	-------	-----	-------

4 事業の実施状況

(1) A L T事業の継続実施と共に、小学5・6年生の外国語教育の円滑な実施のため、英語指導支援員の配置を継続実施した。
(2) 外国語活動推進事業として、幼児対象の英語教育を実施した。

5 事業の評価

(1) 国際化社会に対応する人材育成等のための外国語活動サポートの継続実施と共に、今後も英語に係る小中学校の更なる連携を検討していく必要がある。
(2) 外国語活動推進事業を実施し、これからの英語教育について調査及び検証するとともに、英語の普及活動につなげることができた。

6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	持続可能な英語教育・英語学習を推進するため、英語指導支援員を配置し英語教育の充実を図る。また、英会話推進事業を充実させ、町民全体への普及拡大を図る。

事務事業点検及び評価調書

1 事業名等

事業名	6 教育の質の向上	所管課・係	学校教育課 管理係
-----	-----------	-------	--------------

施策体系 〔教育振興計画〕	II一人ひとりの能力を伸ばし、社会を生きぬくための確かな学力を育成する ○個々の能力を伸ばす環境整備 ○教職員研修の充実	予算科目	款 10 教育費
			項 1・2 教育総務費、小学校費
			目 2・4 教育研究所費、地域交流学習活動事業費

2 事業の概要

事業目的	教育の質の向上
事業内容	(1) 地域素材を生かした教育活動の充実 (2) 河北町教育研究所における研修の充実 (3) 学校経営の見直しによるOJTの充実と自主的な研修の支援

3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	5,701	補正額等	△362	合計	5,339	決算額	5,134
-------	-------	------	------	----	-------	-----	-------

4 事業の実施状況

(1) 各校学習テーマを設定し、地域の人や地域の歴史文化に関わる学習を実施した。 (2) 教育研究所(4研究部会、4専門部会)において、課題について主体的な研修を実施した。

5 事業の評価

(1) 「地域交流学習活動」事業を実施し、地域の方の協力を得ながら取り組むことができた。 (2) 主体的な研修を実施し、新たな教育課題に対応する指導の向上を図ることができた。
--

6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	教育課題の多様化・高度化に対応するため、実践的指導力をもった教職員の継続した育成を図る。地域とのつながりをより強化する「地域交流学習事業」を発展させると共に、教育研究所の機能強化を図る。

事務事業点検及び評価調書

1 事業名等

事業名	7 特別支援教育の充実	所管課・係	学校教育課 管理係
-----	-------------	-------	--------------

施策体系 教育振興 計画	II 一人ひとりの能力を伸ばし、社会を生きぬくための確かな学力を育成する ○特別支援教育の充実	予算科目	款 10 教育費
			項 2・3 小学校費・中学校費
			目 1 学校管理費

2 事業の概要

事業目的	特別支援教育の充実
事業内容	(1) 特別支援教育の実践・検証 (2) 長期的視野に立った支援体制の整備 (3) 個に応じた指導・支援の充実 など

3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	12,761	補正額等	0	合計	12,761	決算額	12,716
-------	--------	------	---	----	--------	-----	--------

4 事業の実施状況

(1) 町教育研究所において、特別支援教育部会を開催するほか、各学校の特別支援教育コーディネーターによる連絡会を開いた。 (2) 幼稚園や認定こども園と連携をとると共に、個に応じた指導や適正な就学につないだ。 (3) 学級の中で、個別に支援が必要な児童生徒のニーズに対応するため、学校の必要性に応じて学習生活指導補助員(小学校10人、中学校1人)の継続配置と研修を行った。
--

5 事業の評価

(1) 具体的ケースを基にした研修や、長期的な視点に立った講座の開催等、多様な個に応じた特別支援教育の研修を継続して取り組むと共に、更に保護者の理解を深める取り組みを行う。 (2) 各発達段階に応じた、支援計画のあり方など、幼稚園や認定こども園と連携を進める。 (3) 実情に応じ、継続して学習生活指導補助員を配置する。
--

6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	個別に支援が必要な児童生徒一人ひとりの教育的ニーズを把握し、適切な教育支援を推進するため、引き続きその環境整備に努める。更に保護者の理解を深める取り組みを行っていく。

事務事業点検及び評価調書

1 事業名等

事業名	8 キャリア教育の推進	所管課・係	学校教育課 管理係
-----	-------------	-------	--------------

施策体系 教育振興 計画	Ⅲ変化する社会に対応して、自立する力を育成する ○地域に根ざしたキャリア教育の充実	予算科目	款	10	教育費
			項	3	中学校費
			目	2	地域交流学習活動事業費

2 事業の概要

事業目的	キャリア教育の推進
事業内容	(1) 中学校段階からのキャリア教育 (2) 就業体験の充実

3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	500	補正額等	0	合計	500	決算額	380
-------	-----	------	---	----	-----	-----	-----

4 事業の実施状況

<p>(1) 地域交流学習活動事業に関連し、地域を知ることや、地域に縁のある方の講話を聞くなど、中学校段階でのキャリア教育に関する事業を行った。</p> <p>(2) 中学2年生で、地域の職場で就労体験を行い、生徒一人ひとりの望ましい勤労観や職業観を育てると共に、社会への参画の仕方等を考えさせた。また、3年生では、本町出身者の方々の職場を訪問し、働く人々の姿に触れ、人としての生き方などを学んだ。</p>

5 事業の評価

<p>(1) 発達段階に応じて、様々な体験活動を実施ながら、キャリア教育を推進する。</p> <p>(2) 中学校では、実際に体験することを通じて、働くことの意義や価値を実感として学ぶことができ、また、先生以外の方から指導を受けることで、新鮮な学びを体験できた。</p>

6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	主体的に自己の進路を選択し、決定できるなど、社会人・職業人として自立していくための発達段階に応じたキャリア教育を引き続き推進する。

事務事業点検及び評価調書

1 事業名等

事業名	9 健やかな体の育成	所管課・係	学校教育課 学校給食センター
-----	------------	-------	-------------------

施策体系 教育振興 計画	I 自他の「いのち」を尊重し、豊かな心と健やかな体を育む教育を推進する ・食育の推進 ・安全・安心な学校給食の提供	予算科目	款	10	教育費
			項	5	保健体育費
			目	4	給食センター費

2 事業の概要

事業目的	健やかな体の育成
事業内容	(1) 食に関する指導の充実 (2) 地元産食材を積極的に活用し理解と関心を深める (3) 食の安全を推進するとともに給食センターの備品等の計画的な更新 (4) 充実した給食実施に向けた給食費の検討

3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	134,855	補正額等	△1,293	合計	133,562	決算額	128,886
-------	---------	------	--------	----	---------	-----	---------

4 事業の実施状況

(1) 栄養教諭が給食時に各学校で食に関する指導や各学年にあった食育授業を計画的に実施した。 (2) 学校給食だよりを発行し、メニューの掲載だけでなく、使用している地元産食材の紹介や季節の献立についても保護者へお知らせした。また、谷地西部小学校では生産者との交流給食会を実施した。 (3) 食の安全管理のため食材の理化学検査等を実施した。また、保温性の高い中学校用汁用食缶に更新した。 (4) 令和2年度からの給食費について物資の値上りやエネルギー充足等を検討し、学校給食センター運営協議会に提案し、1食当たりの給食費を改定した。
--

5 事業の評価

(1) 引き続き食育計画の推進と、栄養教諭による食に関する指導を実施する。 (2) 顔の見える生産者紹介用の掲示物を作成し、学校に掲示したり、地元生産者との交流給食会を実施することで地元産食材への理解と関心を深めることができた。 (3) 食の安全確保のため継続的に各種食材検査を実施するとともに、調理現場での衛生管理の徹底を図る必要がある。中学校用汁用食缶については学校より良い評価をいただいている。衛生面はもちろん安全面からも計画的に施設・設備・備品等を更新していく必要がある (4) 給食費の改定の検討については学校給食センター運営協議会を開催し、保護者代表の委員からご意見をいただくことができた。
--

6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	河北町の食育推進計画の重点目標にも取り組み、学校・家庭・地域と連携して児童生徒の望ましい食習慣の形成に努める。また、施設等の計画的な修繕・更新、安全な食材の使用など推進する。

事務事業点検及び評価調書

1 事業名等

事業名	10 農村環境改善施設事業	所管課・係	生涯学習課 生涯学習係
-----	---------------	-------	----------------

施策体系 教育振興 計画	V地域に根ざした生涯学習社会を築く ○学び続けるための学習機会の充実	予算科目	款	6	農林水産業費
			項	1	農業費
			目	6	農村環境改善施設費

2 事業の概要

事業目的	地区の中心的施設であるセンターの管理運営及び維持
事業内容	西里、溝延、北谷地の各センターの維持管理費

3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	37,104	補正額等	5,600	合計	42,704	決算額	41,145
-------	--------	------	-------	----	--------	-----	--------

4 事業の実施状況

(1)	各センターの運営協議会開催	2回ずつ
(2)	利用者数と利用料金	
	・農村環境改善センター（西里地区公民館）	13,583人 529,152円 (前年度13,652人 476,495円)
	・溝延研修センター（溝延地区公民館）	13,750人 485,706円 (前年度12,791人 522,458円)
	・北谷地構造改善センター（北谷地地区公民館）	10,636人 277,726円 (前年度8,953人 260,297円)
(3)	修繕、工事等	
	・農村環境改善センター	洗浄装置入替、除雪機修繕、芝刈機修繕、女子トイレ和便器漏水修理、遊具塗装（鉄棒）、風除室照明交換工事
	・溝延研修センター	多目的ホール排煙窓改修工事、多目的ホール北側引戸硝子修繕、多目的ホール入口天井補修、外部分電ボックス塗装、用具サッシ硝子修理、消防設備修繕、多目的ホール用具収納扉修理、オープンレンジ修繕、洋便器便座修繕、研修室照明器具取替
	・北谷地構造改善センター	多目的ホール天井改修工事、遊具塗装（複合遊具）、ウォシュレット修理、洋便器つまり抜き
(4)	備品購入	
	・刈払機、ブルーヒーター（溝延研修センター）	
(5)	農村環境改善センターの名称変更	
	・西里地区の農村環境改善センターを西里農村環境改善センターに名称を変更し、令和2年4月から適用することとした。	
(6)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3月2日から高校生以下の施設利用を制限した。	

5 事業の評価

地域の活性化や地域住民の健康の増進等の施設として適切な管理運営に努めた。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、利用者の安全に配慮し利用制限を行った。

6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	管理に必要な修繕や備品購入を引き続き行う。経年劣化によって見込まれる大規模修繕は計画的に執行し、利用者の安全に配慮した施設運営を継続する。

事務事業点検及び評価調書

1 事業名等

事業名	1 1 社会教育総務事業	所管課・係	生涯学習課 生涯学習係
-----	--------------	-------	----------------

施策体系 〔教育振興計画〕	IV家庭・地域・学校の協働による社会全体の教育力向上を図る	予算科目	款	10	教育費
	○家庭・地域と連携する学校教育の推進		項	4	社会教育費
	○地域の教育力を高める活動の推進		目	1	社会教育総務費

2 事業の概要

事業目的	地域住民が積極的に生涯教育活動に関わり地域の教育力を向上
事業内容	社会教育委員、社会教育推進員、青少年育成推進員、紅花いっぱい運動事業、学校支援地域本部事業、家庭教育支援事業、伝統文化等地域活性化事業等

3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	4,860	補正額等	△612	合計	4,248	決算額	4,203
-------	-------	------	------	----	-------	-----	-------

4 事業の実施状況

(1) 社会教育委員	・委員会を開催し生涯学習事業全般について意見を求めている。 ・第2回委員会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面で行った。
(2) 社会教育推進員	・事業全般に協力。青少年育成推進員との合同会議を2回、合同研修会を1回開催
(3) 青少年育成推進員	・各種少年向け事業の運営、青少年健全育成のための巡回などに協力
(4) 少年教育・青年教育	・第31回爽やかサイクリング 令和元年 9月28日(土) 28人参加 ・第28回子どものつどい 新型コロナウイルス感染症予防のため中止 ・家庭の日イベント デコ巻きづくり 令和元年 7月21日(日) 親子で一緒にダンス 令和2年 1月19日(日) ・べに花の種プレゼント 平成31年 4月14日(日) ・第39回最上紅花切花展 令和元年 7月13日(土)
(5) 学校支援地域本部事業	・教育委員会にコーディネーターを配置し、各学校の要望把握とボランティアの人材確保および調整を図ることで学校を支援した。
(6) 家庭教育支援事業	・やまがた子育て講座 町内4小学校 ・幼児共育ふれあい広場 町内1幼稚園、2こども園、1子育てセンター
(7) 各種団体への補助	・青年団、婦人会、子ども会育成会連絡協議会、青少年育成町民会議へ補助金を支出した。
(8) 伝統文化等地域活性化事業	・伝統文化の継承団体に補助金を支出した。 3団体

5 事業の評価

少年教育・青年教育では、子どものつどいが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となったものの、社会教育委員や社会教育・青少年育成両推進員、子ども会育成会役員、青年団員など多くの方々の協力を得ながら各種事業を実施することができた。
--

6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	参加者募集イベントについては、新型コロナウイルス感染症対策を講じていくとともに、参加しやすい日程や内容になるよう適宜見直ししていく。

事務事業点検及び評価調書

1 事業名等

事業名	12 成人式・はたちのつどい事業	所管課・係	生涯学習課 生涯学習係
-----	------------------	-------	----------------

施策体系 教育振興 計画	IV家庭・地域・学校の協働による社会全体の教育力向上を図る ○地域の教育力を高める活動の推進	予算科目	款	10	教育費
			項	4	社会教育費
			目	1	社会教育総務費

2 事業の概要

事業目的	地域の若者力の集結
事業内容	成人式及びはたちのつどいの実施

3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	958	補正額等	0	合計	958	決算額	925
-------	-----	------	---	----	-----	-----	-----

4 事業の実施状況

<p>(1) 成人式・はたちのつどい 令和2年1月12日(日)</p> <ul style="list-style-type: none"> 成人式の式典をサハトベに花で、引き続きはたちのつどいを町民体育館で開催した。平成26年度に河北中学校を卒業した人等が対象で、対象190人中、144人が式典に参加した。 なお、ボランティアサークルピエロと青年団が主体の実行委員が企画・運営した「はたちのつどい」は、飲食を伴いながら恩師や旧友と語り合うことができる、楽しい集いの場となった。 <p>(2) 成人式・はたちのつどいインターネット写真展</p> <ul style="list-style-type: none"> はたちのつどい実行委員が撮影した、成人式とはたちのつどいのスナップ写真を参加者向けにインターネットで公開し、写真の注文を受け付けた。注文件数47件、注文枚数676枚だった。

5 事業の評価

<p>成人式は、肅々とした雰囲気の中で円滑に実施できた。「はたちのつどい」は、実行委員会の中核となる町青年団の団員数と活動可能な時間が減少している中で、各実行委員が工夫を凝らして開催することができた。</p>
--

6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>成人年齢引き下げに伴う式典やはたちのつどいのあり方については、全国や近隣市町の動向も踏まえながら検討を継続する。</p>

事務事業点検及び評価調書

1 事業名等

事業名	13 放課後子ども教室推進事業	所管課・係	生涯学習課 生涯学習係
-----	-----------------	-------	----------------

施策体系 教育振興 計画	IV家庭・地域・学校の協働による社会全体の教育力向上を図る ○家庭・地域と連携する学校教育の推進	予算科目	款	10	教育費
			項	4	社会教育費
			目	1	社会教育総務費

2 事業の概要

事業目的	子どもの安全な遊び場の確保、体験学習を通しての仲間づくり
事業内容	夏休みを除く6月から10月までの期間の水曜日に子どもの遊び場を確保

3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	445	補正額等	△113	合計	332	決算額	321
-------	-----	------	------	----	-----	-----	-----

4 事業の実施状況

(1) 子どもの居場所づくり事業

・平成16年度から取り組んでいる事業であり、運営委員でもある各地区青少年育成町民会議役員、各学校及び各放課後児童クラブの協力を得て、6月から10月の夏休みを除く水曜日の放課後を基本に実施している。5種類（ビーズアクセサリ、DVD鑑賞、俳句、英語、キッズダンス）の講座の展開を含め、子ども同士の交流と居場所づくりに取り組んだ。

町内の学区ごとに6会場で実施し、一日平均で約59人が参加した。なお、教室別の1回あたりの平均人数は以下のとおりである。

西里放課後子ども教室	16人
溝延放課後子ども教室	18人
谷地中部放課後子ども教室	24人
谷地南部放課後子ども教室	14人
谷地西部放課後子ども教室	6人
北谷地放課後子ども教室	12人

5 事業の評価

異年齢の子ども同士が交流する場として定着し、地区によっては独自講座を追加している。地域の方々にコーディネーター役と見守り役をお願いしているが、地区毎に子どもの参加者数が異なるため、地区の状況に合わせた運営が必要である。

6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	新型コロナウイルス感染症に対応し、時期や内容の見直しを図りながら、地域、学校、学童クラブと連携しての事業展開とする。

事務事業点検及び評価調書

1 事業名等

事業名	14 公民館事業	所管課・係	生涯学習課 生涯学習係
-----	----------	-------	----------------

施策体系 教育振興 計画	IV家庭・地域・学校の協働による社会全体の教育力向上を図る	予算科目	款	10	教育費
	○地域の教育力を高める活動の推進		項	4	社会教育費
	V地域に根ざした生涯学習社会を築く		目	2	公民館費
	○学び続けるための学習機会の充実				

2 事業の概要

事業目的	公民館活動や文化活動の活性化と文化活動への積極的参加の促進
事業内容	中央公民館事業、各分館活動支援、婦人文化教室支援、ひなカレッジ支援

3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	4,723	補正額等	△755	合計	3,968	決算額	3,937
-------	-------	------	------	----	-------	-----	-------

4 事業の実施状況

(1) 青少年講座	<ul style="list-style-type: none"> べに花かほく体験隊 令和元年8月10日(土) 菓子工房シェリーの庄司氏を講師に迎え、小学生24名と同伴の保護者併せて50名ほどで タピオカゼリー・ドリンクづくりを行った。
(2) 婦人文化教室	<ul style="list-style-type: none"> 開級式、閉級式(新型コロナウイルス感染症の影響で中止)、移動学習、文化祭発表、各学級の活動等を支援した。
(3) かほく町民大学ひなカレッジ	<ul style="list-style-type: none"> 実行委員21人が中心となり、大講座、小講座、公開講座、10周年記念コンサートを開催した。 大講座 五木寛之講演会 令和元年8月24日(土) 入場者721人 小講座 べにばなラボ、大人の部活動、こころ学、女性の磨き学、恋する歴史学 受講生延べ105人 公開講座 かほくシネマ倶楽部 令和元年10月5日(土) 1作品上映 入場者136名 10周年記念コンサート 活動報告、アルケミストコンサート 令和2年2月24日(月・祝) 入場者約300人
(4) 生涯学習講師派遣事業	<ul style="list-style-type: none"> 学習の一部補助として、1件あたり5,000円を補助した。支援件数8件
(5) 自治公民館(分館)	<ul style="list-style-type: none"> 自治公民館80館で連絡協議会を組織し、総会、大会、視察研修の事業を実施した。

5 事業の評価

かほく町民大学ひなカレッジは、実行委員がそれぞれ興味のある分野の講座企画・運営を行っており、良い意味で行政主導とは異なる視点や発想による多様な講座を展開している。新規実行委員も増え、事業内容の見直しについても活発に協議している。
--

6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	令和2年度は、婦人文化教室50周年にあたり、記念事業等を支援する。各団体との連絡を密にした支援を継続する。

事務事業点検及び評価調書

1 事業名等

事業名	15 地区公民館事業	所管課・係	生涯学習課 生涯学習係
-----	------------	-------	----------------

施策体系 教育振興 計画	IV家庭・地域・学校の協働による社会全体の教育力向上を図る ○地域の教育力を高める活動の推進 V地域に根ざした生涯学習社会を築く ○学び続けるための学習機会の充実	予算科目	款	10	教育費
			項	4	社会教育費
			目	2	公民館費

2 事業の概要

事業目的	各地区公民館活動による、地域力の高まりと文化活動への積極的参加の促進
事業内容	各地区公民館の活動と運営

3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	1,139	補正額等	0	合計	1,139	決算額	1,066
-------	-------	------	---	----	-------	-----	-------

4 事業の実施状況

(1) 文化教養講座	<ul style="list-style-type: none"> ・文化教室（西里） 8学級延べ111人 ・大昭大学（溝延） 88人 ・文芸学級（北谷地） 8学級延べ103人 	<ul style="list-style-type: none"> ・婦人会各学級（溝延） 6学級延べ89人 ・あじさい学級（溝延） 31人
(2) 学習講座	<ul style="list-style-type: none"> ・しめ飾り作り（西里） ・小正月行事（溝延） ・ミニ門松づくり（北谷地） ・小正月行事（北谷地） 	<ul style="list-style-type: none"> 西里小学校5年生参加 溝延小学校1・3年生参加 北谷地小学校5年生参加 北谷地小学校1・2年生参加
(3) その他の講座等の開催、協力（各地区）	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの居場所づくり事業 8回ずつ ・地区公開講座 1回ずつ ・地区文化祭 1回ずつ ・新春を祝う会 1回ずつ ・やすらぎのまちづくり事業における交流会 北谷地で実施した。西里、溝延は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。 ・輪投げ大会、スカットボール大会、ゲートボール大会等 	
(4) センターだよりの発行（各地区）		

5 事業の評価

館長、管理人、担当職員が連携し各種団体、地域、学校等の協力を得ながら事業に取り組んだ。各講座には女性や高齢者を中心に一定の参加者数があるが、若い世代や男性など新たな参加者を確保が課題である。

6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	新型コロナウイルス感染症への対策を行いながら各講座の運営を進める。学習講座については、現在の講師から次世代へ技術の継承を図っていく。

事務事業点検及び評価調書

1 事業名等

事業名	16 図書館事業
-----	----------

所管課・係	生涯学習課
	生涯学習係

施策体系 教育振興 計画	I 自他の「いのち」を尊重し、豊かな心と健やかな体を育む教育を推進する ○豊かな心の育成 V 地域に根ざした生涯学習社会を築く ○学び続けるための学習機会の充実
--------------------	---

予算科目	款	10	教育費
	項	4	社会教育費
	目	3	図書館費

2 事業の概要

事業目的	図書館の運営とサービスの充実
事業内容	指定管理者制度の導入による施設運営、備品（蔵書）の計画的な購入

3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	27,501	補正額等	0	合計	27,501	決算額	27,501
-------	--------	------	---	----	--------	-----	--------

4 事業の実施状況

(1) 図書館の運営 ・ NPO法人河北まちづくりネットワークひまわりが指定管理者となり、図書館運営やブックスタート事業、おはなし会、移動図書館等を実施した。 ・ 令和元年8月1日から貸出冊数を8冊に増やし、利用カード発行の対象者に天童市民を加えた。
(2) 図書館後援会 ・ 趣旨に賛同くださる方から寄付金（会費）を募り、大活字本、DVDを図書館に寄贈した。 大活字本30冊、DVD等12巻寄贈
(3) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3月2日から高校生以下は貸出返却のみとし、おはなし会等を中止した。また、閲覧室を閉鎖する利用の制限を行った。

5 事業の評価

指定管理者制度の導入により、夜間の開館や図書館ホームページの更新などサービスの拡充を図り、利用者の多様なニーズに応える蔵書の配置や読書啓発活動を行っている。
--

6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	良書や町民が関心を持つ書籍の設置に努め、新型コロナウイルス感染症対策を十分に行いながら運営を継続する。書棚増設やBM車の更新については検討を継続する。

事務事業点検及び評価調書

1 事業名等

事業名	17 文化財総務事業	所管課・係	生涯学習課 生涯学習係
-----	------------	-------	----------------

施策体系 教育振興 計画	V地域に根ざした生涯学習社会を築く ○郷土愛を高める学習の推進	予算科目	款	10	教育費
			項	4	社会教育費
			目	4	文化財費

2 事業の概要

事業目的	地域の文化財の保護と資料整備
事業内容	町文化財保護審議会の開催、町の歴史講座の開催

3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	1,397	補正額等	0	合計	1,397	決算額	1,375
-------	-------	------	---	----	-------	-----	-------

4 事業の実施状況

(1) 文化財保護審議会 会議3回 研修：庄内町、酒田市 ・ 毎月の広報かほく15日号に各地区の由来、名所等を紹介する「かほく風土記」を掲載した。 ・ 第4回審議会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。
(2) 河北町の歴史講座 3回 実人数で77人参加（延べ121人参加） ・ 第1回 紅花の栽培について 12月14日（土） 33人参加 ・ 第2回 最上川・寒河江川改修の歴史 2月1日（土） 46人参加 ・ 第3回 谷地城跡発掘調査報告会 2月22日（土） 42人参加
(3) 全国民俗芸能保存振興市町村連盟総会出席 ・ 東京都品川区 7月25日～26日
(4) 山形ふるさと塾伝承活動への助成 ・ 子ども達に伝統文化等を伝える山形ふるさと塾に賛同する2団体について助成した。

5 事業の評価

文化財保護審議会の意見を尊重しながら文化財の保護に努めている。広報に「かほく風土記」を掲載し文化財の周知を図り、町の歴史講座では、現地学習の回を設けるなどして好評であった。
--

6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	文化財保護審議会の委員補充について検討し、町指定文化財の候補については調査を継続する。歴史講座を通して文化財保護の啓発を行う。

事務事業点検及び評価調書

1 事業名等

事業名	18 文化財保護事業	所管課・係	生涯学習課 生涯学習係
-----	------------	-------	----------------

施策体系 教育振興 計画	V地域に根ざした生涯学習社会を築く ○郷土愛を高める学習の推進	予算科目	款	10	教育費
			項	4	社会教育費
			目	4	文化財費

2 事業の概要

事業目的	文化財愛護精神の啓発
事業内容	町指定文化財の指定と保護、史跡説明板設置、日本遺産事業の推進、発掘調査

3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	63,294	補正額等	△10,035	合計	53,259	決算額	51,733
-------	--------	------	---------	----	--------	-----	--------

4 事業の実施状況

<p>(1) 県指定文化財の巡回</p> <p>(2) 無形文化財の保護 ・既存収録ビデオの編集を行った。 谷地の昭和初期の様子</p> <p>(3) 史跡説明板の更新 ・溝延八幡神社 大ケヤキ説明版更新</p> <p>(4) 日本遺産「山寺が支えた紅花文化」(平成30年5月24日、文化庁認定) 関連事業 ・「山寺と紅花」推進協議会事業の推進 ・日本遺産認定説明板の設置 ・デジタルサイネージの設置 (道の駅、紅花資料館)</p> <p>(5) 埋蔵文化財発掘調査 ・新庁舎建設に伴う谷地城二の丸跡発掘調査を4～8月に行った。 ・7月20日(土)には現地説明会を行い、約100人が参加した。 ・3月には個人住宅開発に伴う谷地城二の丸跡発掘調査を行った。</p>

5 事業の評価

<p>無形文化財の収録映像の公開、史跡説明板の更新、文化財保護活動を行う団体への助成などにより、文化財保護精神の向上を図っている。発掘調査の現地説明会では想定より多くの人に参加し町民の関心の高さが伺えた。</p>
--

6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>指定文化財や埋蔵文化財等の保護と公開を進める。日本遺産「山寺と紅花」について、推進協議会と連携したPR活動を継続する。</p>

事務事業点検及び評価調書

1 事業名等

事業名	19 サハトベに花管理事業	所管課・係	生涯学習課 生涯学習係
-----	---------------	-------	----------------

施策体系 教育振興 計画	V地域に根ざした生涯学習社会を築く ○学び続けるための学習機会の充実	予算科目	款	10	教育費
			項	4	社会教育費
			目	5	サハトベに花費

2 事業の概要

事業目的	サハトベに花の維持管理
事業内容	指定管理者制度の導入による施設管理、計画的な維持修繕

3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	122,180	補正額等	4,579	合計	126,759	決算額	126,647
-------	---------	------	-------	----	---------	-----	---------

4 事業の実施状況

(1) 河北町総合交流センターサハトベに花の運営
・指定管理者 (株)河北町べに花の里振興公社
年間利用件数 1,970件 (前年度 2,219件)
年間利用人数 63,201人 (前年度 70,978人)
(2) プラネタリウム等の上映
・平成27年7月にリニューアルオープンした全天周劇場でプラネタリウム等を上映した。
年間上映回数 438件 (前年度 524件)
年間利用人数 6,121人 (前年度 7,641人)
(3) 工事等
・消防用設備修繕 (指摘事項)
・舞台屋上防水改修工事
・ドーム屋上防水改修工事
・中央監視装置等改修
・プラネタリウム電球交換
・プラネタリウムグラフィックボード交換
(4) 備品購入
・プラネタリウム幼児向け映像番組購入 (2番組)
・ホール音響パワーアンプ更新
(5) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3月3日から高校生以下の利用を制限し、プラネタリウム (全天周劇場) 上映を休止した。

5 事業の評価

NPO法人小さな天文学者の会と連携した天文関連の講座やイベントの実施により、新しい利用者層が増加している。一方で、開館から25年以上が経過し、施設や機器等の計画的な更新や修繕が必要となっている。

6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	利用者の安全と利便性を考慮し修繕箇所をランク付けして、計画的な修繕、更新を図る。新型コロナウイルス感染症対策を十分に行いながら運営を継続する。

事務事業点検及び評価調書

1 事業名等

事業名	20 サハトベに花文化事業
-----	---------------

所管課・係	生涯学習課
	生涯学習係

施策体系 教育振興 計画	V地域に根ざした生涯学習社会を築く
	○生きがいを感じ、感動できる芸術文化活動の充実

予算科目	款	10	教育費
	項	4	社会教育費
	目	5	サハトベに花費

2 事業の概要

事業目的	地域住民の芸術文化の意識向上
事業内容	サハトホール事業、プラネタリウム活用

3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	6,112	補正額等	△712	合計	5,400	決算額	5,393
-------	-------	------	------	----	-------	-----	-------

4 事業の実施状況

(1) サハトホール事業
・「NHK公開収録 みんなDEどーもくん！」
出演者：どーもくん、うさじい、たーちゃん、ななみちゃん、ジャングルポケット、まひ☆るな 【ゲスト】ねづっち（お笑い芸人）
令和元年9月1日（日） 入場者670人
・「岸谷香 KAORI PARADISE 2019」
出演者：岸谷香
令和元年10月25日（金） 入場者748人
(2) プラネタリウム・天文講座
・べに花の里振興公社、NPO 法人小さな天文学者の会と連携したイベントを実施した。
「やさしいブラックホールのお話し」 令和元年9月21日（土）

5 事業の評価

NHK公開収録をはじめとするホールイベントを開催することで、来場者に満足いただき町の知名度を上げることができた。プラネタリウムでのブラックホールのお話しは、サハトならではのイベントとして好評だった。

6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	町民のニーズに応える質の高い公演や時機を得た公演を計画する。また、NHK事業・宝くじ助成事業などに引き続き応募し、支出削減と町のPRを狙う。

事務事業点検及び評価調書

1 事業名等

事業名	2 1 芸術文化振興事業
-----	--------------

所管課・係	生涯学習課
	生涯学習係

施策体系 教育振興 計画	I 自他の「いのち」を尊重し、豊かな心と健やかな体を育む教育を推進する ○豊かな心の育成 V 地域に根ざした生涯学習社会を築く ○生きがいを感じ、感動できる芸術文化活動の充実
--------------------	--

予算科目	款	10	教育費
	項	4	社会教育費
	目	5	サハトベに花費

2 事業の概要

事業目的	地域住民の芸術文化活動の活性化
事業内容	河北町芸術文化協会、県美展河北巡回展、べに花の里俳句大会等各種芸術文化団体への活動補助、サハトベに花展示室での展示事業の実施

3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	2,210	補正額等	△438	合計	1,772	決算額	1,771
-------	-------	------	------	----	-------	-----	-------

4 事業の実施状況

(1) サハトベに花展示事業（一般貸館を除く。）	町内の各芸術文化団体等の協力を得て取り組んだ。
・ 共催事業：河北美術クラブ展	4月29日～ 5月 3日
・ 自主事業：河北美術クラブ会員展（斎藤和俊絵画展）	4月27日～ 5月26日
・ 自主事業：河北町書道連盟会員展（浅黄虹泉遺墨展）	7月22日～ 8月25日
・ 自主事業：塗師 阿部哲二氏 作品展	10月11日～10月23日
・ 総合文化祭：総合作品展	11月 2日～11月 4日
・ 総合文化祭：河北郷土史研究会展示	11月 8日～11月30日
・ 自主事業：河北美術クラブ会員展（石垣敏男油絵展）	1月24日～ 2月18日
・ 共催事業：河北町書道連盟会員展	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止
(2) 文化祭の開催	
・ 町芸術文化協会加盟19団体の発表会（10月5日～11月30日）	
・ 記念式典・舞台発表会（11月3日）	
・ 文化祭の反省会・研修会（2月19日）	
(3) 各種芸術文化団体への補助	
・ 町芸術文化協会、県美展河北巡回展実行委員会、べに花の里俳句大会実行委員会、町小中学校芸術鑑賞教室実行委員会へ補助金を支出し活動を支援した。	

5 事業の評価

町芸術文化協会加盟団体では会員の高齢化が課題となっている団体が多い。県美展河北巡回展では、石巻市の絵画展示を継続した。べに花の里俳句大会では、初めてどんがホールを会場とし、谷地城周辺での吟行を行った。
--

6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	町内の芸術文化の盛り上がりには、町芸術文化協会加盟団体の活動と連携が重要であり、芸術文化協会の活性化のための支援を継続する。

事務事業点検及び評価調書

1 事業名等

事業名	22 女性・青少年センター事業	所管課・係	生涯学習課 生涯学習係
-----	-----------------	-------	----------------

施策体系 教育振興 計画	IV家庭・地域・学校の協働による社会全体の教育力向上を図る ○地域の教育力を高める活動の推進	予算科目	款	10	教育費
			項	4	社会教育費
			目	6	女性・青少年センター費

2 事業の概要

事業目的	青年層の活動の活性化
事業内容	女性・青少年センターの管理、運営

3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	1,328	補正額等	△13	合計	1,315	決算額	1,161
-------	-------	------	-----	----	-------	-----	-------

4 事業の実施状況

(1) 利用状況	・ ボランティアサークルピエロと青年団が、それぞれの活動拠点として利用した。また、河北青年会議所の事務所として、施設の一部占用を許可した(有料)。このほか、県の学習支援事業で利用があった。
(2) 修繕等	・ 大便器ボールタップ交換 ・ 消防設備修繕 ・ 非常階段接地面雨漏り修理工事
(3) 管理業務	・ (株)河北町べに花の里振興公社に管理業務を委託 年間利用件数 71件(前年度 107件) 年間利用人数 729人(前年度 1,014人)
(4) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3月2日から高校生以下の利用を制限した。	

5 事業の評価

青年団員数の減少などにより、利用件数、利用人数ともに前年度に比べ減少した。また、利用者の利便性を向上させる建物の計画的な修繕が必要である。

6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	施設を維持管理するための適切な修繕を図る。「女性・青少年センター」としての機能を維持するか、他の用途でも活用すべきかは調査検討を継続する。

事務事業点検及び評価調書

1 事業名等

事業名	23 交流館遊戯事業	所管課・係	生涯学習課 生涯学習係
-----	------------	-------	----------------

施策体系 〔教育振興計画〕	V地域に根ざした生涯学習社会を築く	予算科目	款	10	教育費
	○郷土愛を高める学習の推進		項	4	社会教育費
			目	7	交流館遊戯費

2 事業の概要

事業目的	まちなか交流人口の拡大、青少年層への伝統文化の紹介、生涯学習活動及び生涯スポーツの活性化
事業内容	施設の維持管理、郷土資料館の展示、体験学習の実施、運動する機会の提供

3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	4,982	補正額等	△10	合計	4,972	決算額	4,787
-------	-------	------	-----	----	-------	-----	-------

4 事業の実施状況

(1) 利用人数	<ul style="list-style-type: none"> ・屋内運動場 663件、5,416人(前年度729件、5,955人) ・郷土資料館 596人(前年度1,029人)
(2) 施設管理	<ul style="list-style-type: none"> ・河北町シルバー人材センターに委託
(3) 施設修繕、工事	<ul style="list-style-type: none"> ・門扉補強修理
(4) 常設展示	<ul style="list-style-type: none"> ・祭り暮らし展示室…囲炉裏端と民具・農具の展示、囃子屋台の展示 ・匠の道具展示室…河北職業訓練協会より資料借用 ・来館者、小学生向け展示説明…河北町郷土資料館協力員 ・タッチパネルパソコンの設置・内容の更新
(5) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3月2日から高校生以下の利用を制限した。	

5 事業の評価

屋内運動場はゲートボール、フットサル、輪投げ、野球等で昼夜使用され盛況である。郷土資料館は、非常勤の協力員に展示替えや解説をお願いし、各小学校の社会科学習の見学先として活用されるほか、囲炉裏端は昔話りの会の練習会場として定期利用されている。
--

6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	開館後10年以上が経過し、修繕すべき箇所がないかのチェックは随時行っていく。 管理人と連携し新型コロナウイルス感染症に対応した運営を行う。

事務事業状況調書

1、事業名等

事業名	24 保健体育総務事業
-----	-------------

所管課・係	生涯学習課
	社会体育係

施策体系 教育振興 計画	6 活力ある生涯スポーツの推進
	・生涯スポーツの推進
	・生涯スポーツ活動の情報提供

予算科目	款	10	教育費
	項	5	保健体育費
	目	1	保健体育総務費

2、事業の概要

事業目的	町民総スポーツの推進
事業内容	地域における一層のスポーツの振興と一町民スポーツの推進

3、予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	1,745	補正額等	-58	合計	1,687	決算額	1,667
-------	-------	------	-----	----	-------	-----	-------

4、事業の実施状況

(1) スポーツ推進審議会を年2回開催し、体育・スポーツを体系的、計画的に推進するための調査・審議を行った。

(2) 町体育協会に補助金を交付し、体育・スポーツの更なる振興を図った。また、体育協会主催による、本町スポーツの普及振興に功績のあった方、並びに競技成績が優秀である個人又は団体を、河北町体育協会表彰式にて表彰した。

(3) 山形県スポーツ振興21世紀協会負担金で、モンテディオ山形関係のサッカー事業の充実を図った。

(4) 河北スポーツクラブは、町からの総合型地域スポーツクラブ補助金を活用し、子どもから高齢者まで誰もがそれぞれのニーズに応じて気軽にスポーツに親しめる環境を整え、町民の自主運営による総合的なスポーツクラブである。

なお、コロナウイルス感染症の拡大のため、令和2年3月開催の各種教室は中止となった。

・朝のストレッチ・ヨガ教室	通年 40回 27人	・ピラティス教室	通年 40回 35人
・ストレッチ・ヨガ教室	通年 40回 24人	・エンジョイ吹き矢教室	通年 20回 5人
・らくらくエアロビクス教室	通年 40回 15人	・キッズダンス教室	通年 40回 46人
・貯筋健康教室	通年 40回 16人	・卓球教室	短期 15回 18人
・骨盤ストレッチ教室	通年 40回 20人	・ブレイクダンス教室	通年 40回 11人

(5) スポーツ行事等の年間予定を掲載した河北体育スポーツだよりの発行(全戸配布)、河北町区対抗総合スポーツ交流大会等の結果について、町の広報や生涯学習課のホームページ、更には、河北町民体育館玄関にスポーツ情報の提供に努めた。

5、事業の評価

河北スポーツクラブでは、様々な教室の運営に努め、幅広い年齢層の方々から参加をいただいている。自分の居場所やストレスの解消、仲間づくりなどスポーツを通して人とのかかわりが人生を豊かにするものであり貴重なスポーツクラブと評価している。

6、今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	常に参加しやすい教室の内容を考え、参加者が増えるよう協力していく。また、会員同士の交流会なども開催していきたい。

事務事業状況調書

1、事業名等

事業名	25 体育指導・教室事業
-----	--------------

所管課・係	生涯学習課
	社会体育係

施策体系 教育振興 計画	6 活力ある生涯スポーツの推進 ・生涯スポーツの推進
--------------------	-------------------------------

予算科目	款	10	教育費
	項	5	保健体育費
	目	1	保健体育総務費

2、事業の概要

事業目的	町スポーツ推進委員の社会体育事業への参画と青少年スポーツの振興
事業内容	町スポーツ推進委員の河北スポーツクラブへの育成、指導、助言及び青少年スポーツの育成

3、予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	643	補正額等	-16	合計	627	決算額	626
-------	-----	------	-----	----	-----	-----	-----

4、事業の実施状況

- (1) 町スポーツ推進委員は、区対抗総合スポーツ交流大会等の社会体育事業への参画及び総合型地域スポーツクラブの育成、指導、助言に努めた。
- (2) 令和元年度第57回山形県スポーツ推進委員研究大会に参加した。
 ①開催期日 令和元年6月22日(土)
 ②開催場所 研修：シェルターなんよう(南陽市文化会館) 実技：南陽市民体育館
- (3) スポーツ少年団の育成事業を行う経費に対して、補助金を交付するとともに、団員募集チラシの発行、本部員会、代議員会、合同結団式、合同研修会、指導者協議会、母集団研修会などを開催し、青少年スポーツの振興と青少年の心身の健全な育成を図った。

5、事業の評価

- (1) スポーツ推進委員の協力によって区対抗総合スポーツ交流大会の運営やほかのスポーツ行事をスムーズに進めることが出来た。
- (2) スポーツ少年団は少子化の影響により団員数の減少や団が統合したり再構築が進んでいる。その中で指導者と母集団が一体となって青少年の健全育成に取り組めた。

6、今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	小さい時からスポーツに親しむことで心身とも良好で生き生き生活ができることを広報しながら、地域にあったスポーツ少年団の育成に努める必要がある。

事務事業状況調書

1、事業名等

事業名	26 各種大会開催事業
-----	-------------

所管課・係	生涯学習課
	社会体育係

施策体系	6 活力ある生涯スポーツの推進
教育振興	・生涯スポーツの推進
計画	

予算科目	款	10	教育費
	項	5	保健体育費
	目	1	保健体育総務費

2、事業の概要

事業目的	区対抗関係大会を通しての、地域住民の世代間交流と長距離選手の育成強化
事業内容	各種大会を通して、町民の融和と親睦を深め、健康増進と明るい町づくりの推進

3、予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	2,498	補正額等	-116	合計	2,382	決算額	2,377
-------	-------	------	------	----	-------	-----	-------

4、事業の実施状況

<p>(1) 第35回へに花杯近隣市町ゲートボール大会を16チームの参加で開催し、愛好者が大会を通して、チーム相互の親睦と技術の向上に努めた。</p> <p>① 開催期日 令和元年7月10日(水)</p> <p>② 開催場所 ひなの湯東公園</p> <p>(2) 第24回河北町区対抗総合スポーツ交流大会を開催し、地域住民の世代間交流を図り、町民の融和と親睦を深め、健康増進と明るい町づくりの推進に努めた。</p> <p>① 開催期日 ・令和元年6月2日(日) 輪投げ大会 135チーム(前年度143チーム) ・令和元年8月18日(日) スカットボール大会 136チーム(前年度135チーム) ・令和元年11月24日(日) ダーツ大会 152チーム(前年度150チーム) ・令和2年1月19日(日) シャフルボード大会 135チーム(前年度136チーム)</p> <p>② 開催場所 河北町民体育館</p> <p>(3) 第64回山形県縦断駅伝競走大会で、寒河江西村山チームが11チーム中総合7位の成績であった。</p> <p>① 開催期日 平成31年4月27日(土)から29日(祝・月)</p> <p>② 開催場所 県内一円</p> <p>(4) 第36回山形県女子駅伝競走大会で寒河江西村山チームが11チーム中4位の成績であった。</p> <p>① 開催期日 令和元年11月17日(日)</p> <p>② 開催場所 山形市周辺</p> <p>(5) 第66回西村山地区駅伝競走大会に本町より2チーム参加し、9チーム中、Aチームが5位、Bチームが9位の成績であった。</p> <p>① 開催期日 令和元年11月10日(日)</p> <p>② 開催場所 西村山管内一円</p> <p>(6) 第22回山形県ジュニア駅伝競走大会に本町より男女各1チーム参加し、男子30チーム中11位、女子31チーム中過去最高の2位の成績であった。</p> <p>① 開催期日 令和元年8月4日(日)</p> <p>② 開催場所 蔵王坊平クロスカントリーコース</p>

5、事業の評価

<p>河北町区対抗総合スポーツ交流大会は、毎回800名前後と多くの参加者となり大変盛り上がる大会に成長している。世代間交流・地域間交流の一役を担っているものと評価する。</p>
--

6、今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>競技種目も定着してきている。また、大会終了時間の繰上げに取り組み、参加者が楽しいひと時を過ごせる大会運営に努めたい。</p>

事務事業状況調書

1、事業名等

事業名	27 べに花関係大会開催事業
-----	----------------

所管課・係	生涯学習課
	社会体育係

施策体系 教育振興 計画	6 活力ある生涯スポーツの推進 ・生涯スポーツの推進
--------------------	-------------------------------

予算科目	款	10	教育費
	項	5	保健体育費
	目	1	保健体育総務費

2、事業の概要

事業目的	べに花文化の意識の高揚
事業内容	べに花関係大会を通して、スポーツの振興と町の活性化

3、予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	1,450	補正額等	0	合計	1,450	決算額	1,014
-------	-------	------	---	----	-------	-----	-------

4、事業の実施状況

<p>(1) 県内外から主催者が認めた優秀チームを招聘し、町内の小中高校生の卓球のレベルアップを図ることを目的に、第32回べに花杯卓球大会の開催を予定していたが、コロナウイルス感染症の拡大により中止とした。</p> <p>①開催期日 令和2年3月20日(金)・21日(土)・22日(日)</p> <p>②開催場所 河北町民体育館</p> <p>③参加チーム ・小学男子 15チーム ・小学女子 15チーム (予定) ・中学男子 19チーム ・中学女子 15チーム ・高校女子 12チーム</p> <p>(2) 第38回べに花マラソン大会を開催し、町の紅花文化の意識を高めるとともに、スポーツの振興と町民の融和を図り、町の活性化に努めた。</p> <p>①開催期日 令和元年7月7日(日)</p> <p>②開催場所 河北町民体育館周辺</p> <p>③参加者数 798人(前年度898人)</p>

5、事業の評価

べに花マラソン大会は、町外からの参加者の割合が多く、また、紅花をPRすることに関しても一番良い時期の大会となっていることから相乗効果を得られるものと評価している。

6、今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	近年、気温の上昇が見受けられるため、熱中症対策として給水所の増設や広報車などによる水分補給のアナウンスなどしながらファミリーマラソンという位置付けを守って楽しく走れるよう工夫して運営に努めたい。

事務事業状況調書

1、事業名等

事業名	28 体育施設事業
-----	-----------

所管課・係	生涯学習課
	社会体育係

施策体系 教育振興 計画	6 活力ある生涯スポーツの推進 ・生涯スポーツの推進と施設の充実
--------------------	-------------------------------------

予算科目	款	10	教育費
	項	6	保健体育費
	目	2	体育施設費

2、事業の概要

事業目的	体育施設の適正な維持管理
事業内容	指定管理者制度を導入し、(株)河北町べに花の里振興公社に管理及び運営を委託し、河北町体育施設の適正な維持管理を確保しつつ、住民サービスの向上に努める。

3、予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	82,850	補正額等	333	合計	83,183	決算額	83,180
-------	--------	------	-----	----	--------	-----	--------

4、事業の実施状況

- (1) (株)河北町べに花の里振興公社に、河北町体育施設の管理及び運営を委託し、体育施設の適切な管理を確保しつつ、住民サービスの向上に努めた。
- ①河北町民体育館 利用件数 1,071 件(前年度 1,177 件)利用者数 43,487 人(前年度 53,625 人)
 - ②サン・スポーツランド河北町民野球場 利用件数 123 件(前年度 116 件)
利用者数 4,007 人(前年度 4,892 人)
 - ③サン・スポーツランド河北町民テニスコート 利用件数 653 件(前年度 738 件)
利用者数 8,802 人(前年度 10,287 人)
 - ④河北町野球場 利用件数 46 件(前年度 68 件) 利用者数 384 人(前年度 550 人)
 - ⑤遊戯屋内運動場 利用者数 5,416 人(前年度 5,955 人)
 - ⑥町民プール 利用者数 31,713 人(前年度 31,059 人) 会員数 88 人(前年度 92 人)
- (2) サン・スポーツランド河北テニスコート(1～4コート)外周ネット全面張替え工事、河北町民体育館屋内誘導灯設備交換工事、河北町民体育館非常用照明交換工事、河北町民プール非常灯設備工事、河北町民体育館更衣室給湯設備・研修室冷暖房改造工事、バスケットゴールの保守点検等を実施し、利用者の安全確保と利用促進に努めた。

5、事業の評価

体育施設の目的である競技スポーツや生涯スポーツ等が安全で安心して利用でき、また、多くの人に親しんでいただけるよう維持管理に努めたい。

6、今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	サン・スポーツランド河北町民テニスコートの整備が終了し、利用者からは好評を得ている。また、町民体育館については、大規模改修を見据えて計画的な工事に取り組みたい。

事務事業状況調書

1、事業名等

事業名	29 スポーツ振興事業
-----	-------------

所管課・係	生涯学習課
	社会体育係

施策体系 教育振興 計画	6 活力ある生涯スポーツの推進
	・ 体育協会、スポーツ少年団活動の支援
	・ 生涯スポーツ活動の情報提供

予算科目	款	10	教育費
	項	5	保健体育費
	目	3	スポーツ振興費

2、事業の概要

事業目的	中学校運動部活動、体育協会加盟団体の生涯スポーツの振興
事業内容	各種スポーツ大会出場激励金、垂れ幕掲示 河北町スポーツ選手育成強化事業補助金、河北町生涯スポーツ振興事業補助金の交付

3、予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	4,713	補正額等	-349	合計	4,364	決算額	3,348
-------	-------	------	------	----	-------	-----	-------

4、事業の実施状況

(1) 各種大会支援
①町の支援として世界、アジア、全国スポーツ大会出場選手に激励、健闘を祈るため激励金を支給し、本町のスポーツの振興を図った。また、世界的、全国的規模の競技スポーツ大会において、優れた成果を挙げ、本町のスポーツ振興・発展に寄与した個人または団体名を垂れ幕で役場庁舎前に掲示し、広く町民に周知した。 ・ 激励金支給者 小学生3人、中学生15人、高校生22人、一般4人、合計44人 (前年度49人) ・ 垂れ幕掲示本数 世界的規模1本、全国的規模15本 合計16本(前年度16本)
(2) 中学校運動部活動、体育協会加盟団体の生涯スポーツの振興
①河北中学校のスポーツを振興するため、強化練習会、遠征、選手派遣、研修会、講習会等の選手育成強化事業を行う経費に対して補助金を交付し、河北中学校運動部活動の更なる競技力向上に努めた。 ②日常生活に定着したスポーツ活動を振興するため、強化練習会、大会開催、選手派遣、指導者養成研修会、講習会等の事業を行う経費に対して体育協会に補助金を交付し、生涯スポーツの振興を図った。

5、事業の評価

河北町スポーツ選手育成強化事業補助金や河北町生涯スポーツ振興事業補助金は各種事業に有効に活用されており、競技力向上に一役買っている。
--

6、今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	激励金支給・垂れ幕掲示は、スポーツ選手の励みになるため引き続き継続して支援していきたい。